

「かんたん工事写真帳3」は

2画面表示にすれば、作業効率が上がります

通常パソコンは1台のディスプレイを繋いだ状態で使用されますが、2台のディスプレイをパソコンに繋ぎ、2画面表示の状態にすれば、本ソフトは2つの画面をフルに活用しますので、更に作業効率が上がります。

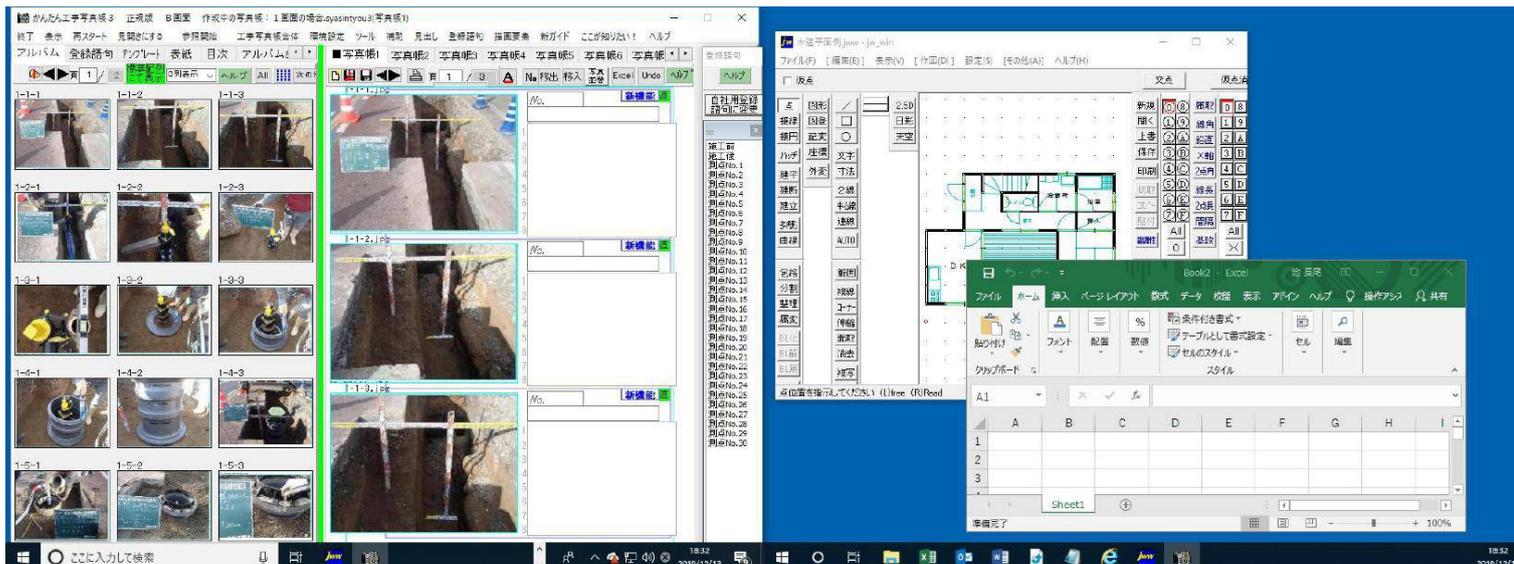
以下その概要を説明いたします。

なお、[2画面表示の場合の詳しい操作要領はこちら](#)をご覧ください。

1画面表示の場合の本ソフトのメイン画面は、通常下図の通りです。

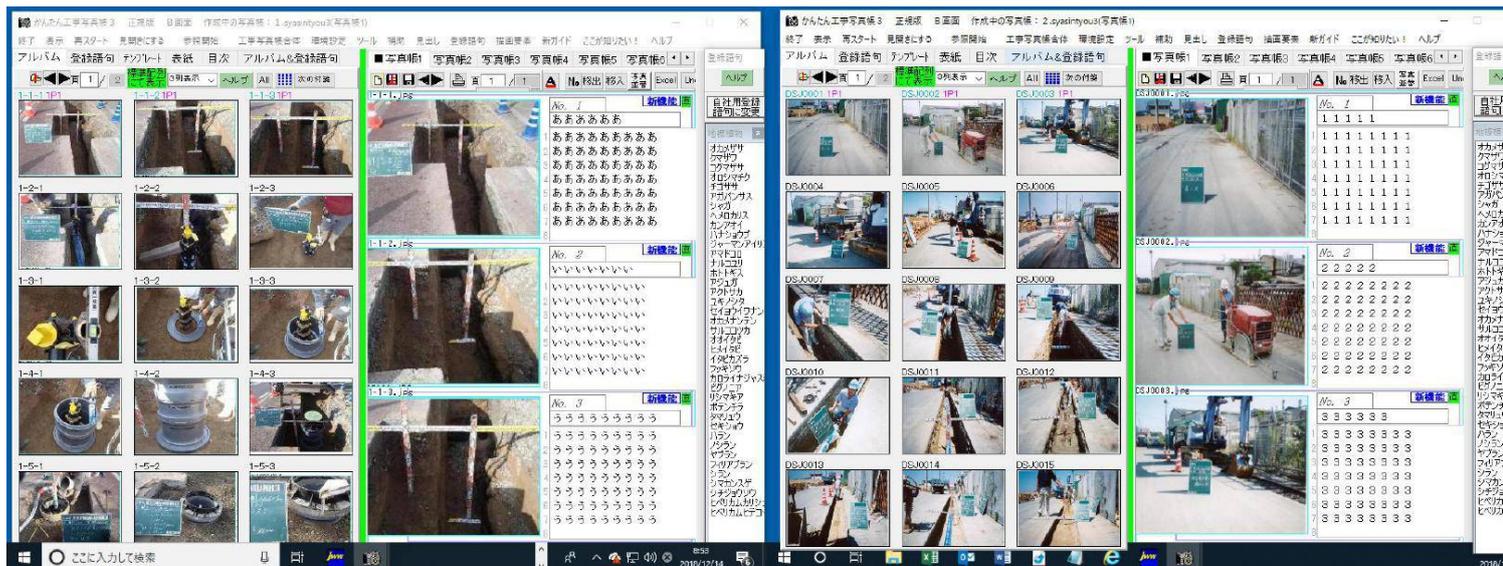


それを2画面表示の状態に変えると、下図の通りになり、右側のディスプレイには別のソフトの画面を表示できるようになります。

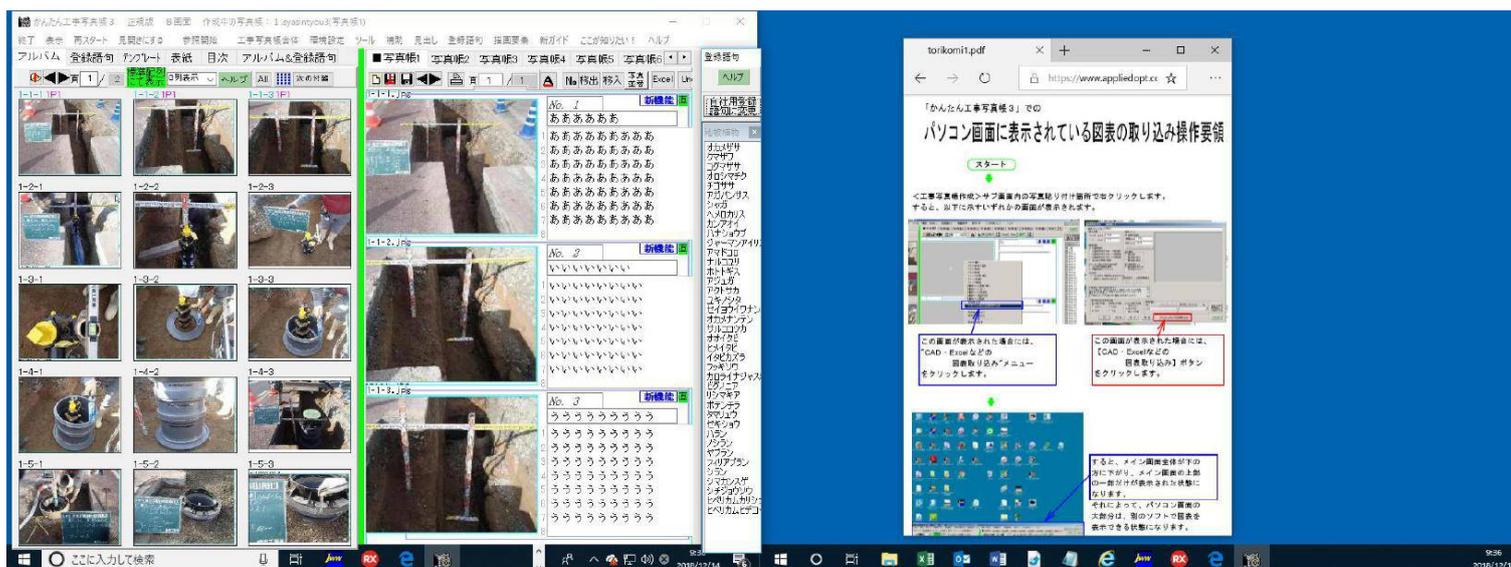


上図の例では、右側のディスプレイにCADソフトやExcelの画面を表示しています。この右側に表示された文章や画像は、簡単な操作で、作成中の工事写真帳の取り込みことができます。

又、本ソフトを二重起動し、左右のディスプレイに別々の工事写真帳を表示させることができますので、他の工事写真帳のデータを一、今作成中の工事写真帳に参照入力することも可能になります。



又、右ディスプレイには、下図のごとく、本ソフトの操作説明文を表示させることもできますので、それを見ながら、本ソフトの操作要領を習得することも可能になります。



以上の例では、本ソフトのメイン画面は、左のディスプレイだけに表示されていましたが、本ソフトのメイン画面の表示幅を倍増して、左右両方のディスプレイに亘って表示させることもできます。この方法に依っても、工事写真帳作成作業の効率を上げることができるようになります。

その1例を下図に示します。

この例では、下記の変更を行っています。

- ・ <写真一覧表示>サブ画面の表示幅を大きくし、左側のディスプレイに多くの写真を大きく表示させています。
- ・ 工事写真帳は右側のディスプレイに見開きで2ページ表示させております。
- ・ 登録語句も右側のディスプレイの右端に2列表示させています。



又、下図の例では、登録語句の表示列数ををもっと多くしています。

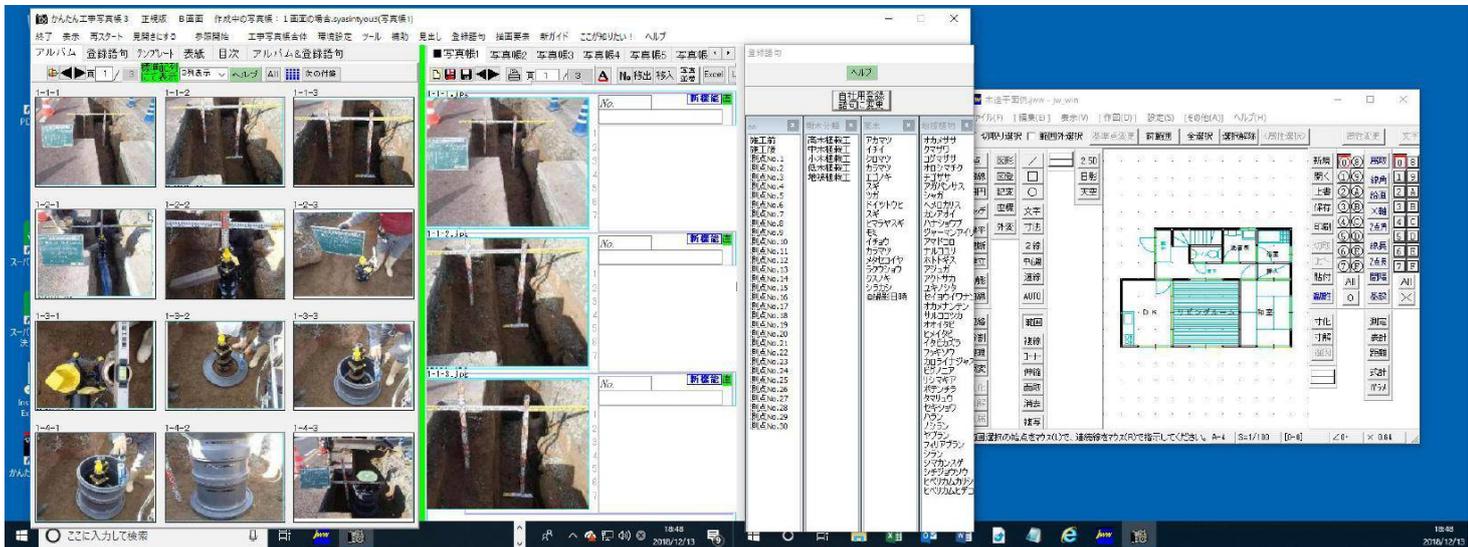


以上の例では、本ソフトのメイン画面の表示幅を2倍に増やした例ですが、そこまで表示幅を大きくする必要がない場合は、表示幅を下記いずれかに変更することもできます。

1.0倍 1.1倍 1.2倍 1.3倍 1.4倍 1.5倍 1.6倍 1.7倍 1.8倍 1.9倍

下図の例は、メイン画面の表示幅を1.3倍にした場合の例です。

この例の場合には、右側のディスプレイの7割の領域には、CADソフトの画面を表示させています。



以上、2画面表示にした場合の色々な利用の仕方を説明しました。

お好みの方法で2画面表示を活用頂ければ幸いです。

なお、[2画面表示の場合の詳しい操作要領はこちら](#) をご覧ください。